

## メーデー宣言



**金丸 健次** (自動車部品工業労組)

の気象変動問題の対応を含めて、県内及び国内各地の被災地における真の復興と再生に向け、被災者に寄り添いつつ、雇用と生活の再建に取り組んでいく。

昨年施行された、働き方改革関連法については、この4月から中小企業の職場にも、時間外労働の上限規制が施行された。長時間労働の是正や同一労働同一賃金の対応においては、真に働く者のための働き方改革となるよう、全力で取り組みを続けていかなければならない。

加えて、直近の新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、働く者の日常はもとより、かつてない世界的な規模で企業活動にも大きな影響を与えている。今こそ働くものを守らなければならない。私たちは「働くことを軸とする安心社会～まもる・つなぐ・創り出す～」の実現に向け、多様なステークホルダーと連携を強化していく。

日本のメーデーは、1920年に第1回が開催され100年を迎えた。第二次世界大戦中は政府により開催が禁止されたが、戦後、労働組合の活動再開とともに再び開かれるようになり、今日まで引き継がれてきた。労働者の地位や勤務条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきた。

そして、私たちは第91回県中央地域メーデーがいかなる開催形式になろうとも、性別や世代、働き方の違いや組織の違い、障がいの有無などを乗り越えた、志を同じくするすべての仲間とともに、メーデーの原点と意義を心に刻み、全ての仲間とともに、職場で、地域で、社会で連帯を強化し、人権を守り、あらゆる差別のない「尊厳ある生活と働き方」の確立と「働くことを軸とする安心社会の実現」に向けて行動することを、ここに宣言する。

2020年4月20日  
第91回県中央地域メーデー